

【第3章】

北海道が目指す教育の基本理念

第3章 北海道が目指す教育の基本理念

基本理念

「自立」と「共生」は、2006(平成18)年10月に本道教育が進むべき方向の道標として策定した「北海道教育ビジョン」において基本理念として示され、これまでの教育計画においても、この理念の実現に向けて、様々な教育施策を総合的かつ計画的に進めてきました。本計画においてもこの理念を継承し、「自立」と「共生」を基本理念の柱とします。

その上で、人口減少社会や Society5.0 の到来、グローバル化の進展など、第2章に示した社会情勢の変化や様々な教育課題を踏まえ、本道の将来を担う子どもたちが、生まれ育った地域や環境、障がいの有無等に関わらず、夢と希望にあふれ健やかに成長できるよう、これからの北海道が目指す教育の基本理念を次のとおり掲げます。

自立

自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、
自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

北海道の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さや可能性を見だし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、北海道はもとより国内外で活躍する人を育みます。

共生

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、
これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、社会総掛かりで育みます。

自立と共生に向けた教育活動



